

Sayaka Shimoda D1GP Rd1 Report

日時: 2022年4月23・24日

於: 富士スピードウェイ(静岡)



チーム: Mercury車楽人VALINO

ドライバー: 下田紗弥加

チーム代表: 佐藤謙

チーフメカニック: 渡部剛士

マシン: TAKUMI Mercury サヤカSPL

S15シルビアE/G

2JZ(3.1ℓ)M/T

OS技研シーケンシャル

結果: 燃料系のトラブルによるリアタイヤ



D1 GRAND PRIX
INTERNATIONAL DRIFT CHAMPIONSHIP

2022.04.28



D1GP開幕と
私のデビュー戦は富士 🏎️💦!!

ふうー。
何とかやっとここまで来た..
少しホッとした気持ちと
新たな挑戦で楽しみな気持ちと..

絶対ここへ行ってやるといながら
私が本当に出来るんだろうか..と
不安が無かったかと言ったら嘘だけど...

そんな時に救われた言葉や..
皆様からのコメントを読んで
また明日から頑張るぞって。

富士で沢山の方とお会いできて
お話して感じたこと..

ずっと私の成長を追いかけて
GPデビューで初めて、遠方から
ドリフトを見に来てくれた方。

この日の為にお小遣いを
一生懸命貯めて来てくれた方。

大事な用があるのにそれを
蹴り飛ばして来てくれた方。

数少ない家族旅行の一つとして
応援に駆けつけてくれた方。

皆様のバックグラウンドを考えていたら、
この日にドリフトする姿を
お見せ出来なかった事が
すごく悲しくて、申し訳なくて..

本当にごめんなさい。
そしてありがとうございました。

でも..もう少し待ってね 🍀 ♀
これが私のスタート地点 🏎️!!
これからどんどん暴れていくよおぉ 🍀❤️



D1GP Rd1（開幕戦）レポート（1）大会前編

2022年はD1LIGHTSとD1GPの2シリーズに参戦する為、事前から時間的・予算的に厳しくなることが分かっていたことや、D1のレギュレーションと、タイヤレギュレーションが決定したのが2月中旬と言う事もあり、D1LIGHTSには昨年同様のマシンをアップデートし使用し、D1GPには昨年度のD1GPオートポリスに参戦し、追走まで勝ち進んでいたチームのマシンを購入することを決めました。

仕様の的には、トップクラスのマシンとは言えないものの、昨シーズンの実績や、D1GP初参戦の為経験値を上げる目的、乗り慣れたS15シルビアと言う事を考えると、その時点ではよい選択と思えました。

マシントラブル・・・

購入後、まずマシンの調子を見るために、エンジンコンピューターのセッティングを行ったところ、3基ある燃料ポンプの内、1基が動いておらず燃圧が足りない為、燃料ポンプの交換を行いました。

日光サーキットで初走行では、電気を送り出すオルターネーターのトラブルが発生し、電圧が足りない事からエンジン不調でテストが終了。新しい部品と、取り付け部分の加工により問題解決。

その後、マーキュリー内でエンジンが始動しないトラブルが発生。点火をしていないことから、配線をチェックしますが、すべての配線の作りに問題があると(今後のトラブルにも繋がる)判断をし、配線の製作に入る。この配線作りにかかなりの時間が掛かりました。

配線が完成し、4月14日に栃木県那須町にある「つくるまサーキット」でテスト。ガソリンをエンジン内に噴射するインジェクターが詰まるというトラブルが発生。現地で洗浄しながら走行させるが、満足なテストにならず。その後インジェクターを新品に交換する。

4月18日(D1開幕4日前)最終テストとし、千葉県の大原サーキットで走行。エンジン関係は問題なく、初めてトラブル無く1日走行出来ました。走らせてみて分かった問題点が2点。

- 1, 水温の上昇
- 2, 足回りのセットアップ

すぐに会社に戻り、外装の仕上げと同時進行で、上記の2点の問題解決を行いました。

マシン製作にあたり、メカニックは毎日深夜まで作業を行い、完成したのが、前日22日の夕刻でした。

これら大会前の模様はYouTube「Drifting Sayaka くるくるTUBE」でご覧頂けます。



D1GP Rd1 (開幕戦) レポート (2) 大会本番編

通常のD1GPでは、本番前に最低でも丸一日練習走行がありますが、ここ富士スピードウェイでは、当日20分×3本の練習時間のみとなります。ただ他の選手も同条件であることや、富士スピードウェイをドリフト走行する機会が無い為、ほぼ走行経験者がいないことから、実力のある選手にはチャンスのあるコースです。

しかし、一回目の練習走行開始直後からエンジンが不調になり、データーを確認したところ燃料の圧力が下がり、十分なガソリンがエンジン内に送り込まれていないことが分かりました。

最後のテストで出ていない症状で、可能な限り部品交換や、対策を施しましたが、問題解決には至らず、本番単走1本走った時点でこれ以上エンジンなどに無理をさせ、トラブルが広がらないようリタイヤ届を出しました。

「今後の対策」

第2戦までの1カ月半、まずは怪しい燃料関係の配管・ポンプの全交換を行い、水回りの見直しをし、サーキットで全開走行テストを数回行いながら、同時に足回りのセッティングを煮詰めて行きます。

まずは第一にトラブルが出ないマシン、第二に扱いやすいマシン、そこまで出来てからポテンシャルのアップを考えて、マシンもチームも一歩ずつ進化させてゆきますので、引き続き応援のほどよろしくお願い致します。



走行出来ず、大変申し訳ありませんでした。

ドライバーとしては、まともに走れずにやるせない気持ちですが、每晚遅くまで寝る時間を惜しんで、チーム員がマシン制作に取り組んでくれていました。

D1ライツで悪戦苦闘し、やっと念願のD1GPデビュー戦ということもあり、沢山のファンの方が遠方から応援に来て頂きました。その方達に走る姿をお見せする事ができなかったのが1番の心残りです。

まだマシンを十分に走らせるには膨大な時間が掛かると予想しています。ですが、みんなで諦めずに表彰台に上られるマシンに仕上げるまで戦ってゆきますので、引き続きご声援頂けたら嬉しいです。 **下田紗弥**



下田紗弥加のメディア・イベント展開



今後10年のドリフトとD1のあるべき姿を展開するD1 NEXT 10 YEARSプロジェクト
その広報部長としてD1とモーターファンフェスタ会場でプロモーション活動

開幕直前に「文春オンライン」(文芸春秋)、「スポルティーバ」(集英社)、
「みんカラ」(CarView)に特集記事+インタビューを掲載頂きました。



文藝春秋
文春オンライン



大会後には「月刊オプション」、「月刊オートスポーツ」、「オートスポーツWEB」、「みんカラ」で連載コラムがスタート。
さらに、半導体大手「Intel」、ファッションブランド「AZUL BY MOUSSY」とのコラボプロモーションも始まります。



「月刊オプション」
＜下田紗弥加の
Life is Challenge＞

「月刊オートスポーツ」
＜ドリフトスーパーガール
下田紗弥加の新たな挑戦＞

「オートスポーツWEB」
＜紗弥加のD1参戦レポート＞

「みんカラ」
＜下田紗弥加の可能性＞

